カスタネット通信

カスタネット

2020年8月号

おぎはら耳鼻咽喉科の言語聴覚士(ST)が月1回発行する『カスタネット通信』第3号です。クリニックは金曜日の午前中が休診です。この時間は事務・清掃作業等をしているのですが、月1回は地域の方々に参加していただけるようなイベントを行いたいと考えています。今月号では、7月10日に行った初イベント『補聴器体験会』の紙上報告を中心に、書いていきたいと思います。

第1回補聴器体験会

補聴器を装用したことのない方にその印象を聞くと、

- 値段が高い
- つけても雑音が多くてことばを聞き取れない
- 扱いが難しそう

等が挙げられ、敬遠されているなと感じます。**補聴器体験会の目的**は、短い時間・限られた空間ではありますが、

- 補聴器を実際に使いそのきこえを体験してもらう
- 補聴器に関する疑問にお答えする

ということです。

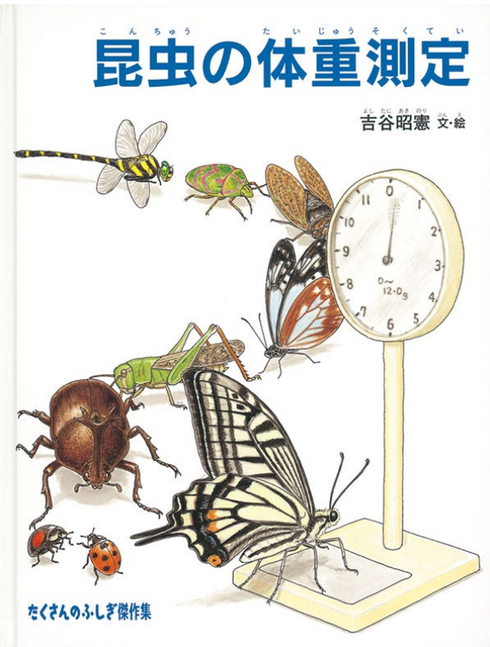
体験会では、参加者それぞれの聞こえに合った補聴器を用意するために**聴力検査を行い、検査結果の見方の説明**を行いました。視力検査で「1.5」と言われたら“よく見えてる！”「0.8」と言われたら“あれ？悪くなった？眼鏡が必要？”となんとなく分かりますよね。でも、聴力検査で「50dBです」「20dBです」と言われてもどちらが聞こえが良いのか、どれくらいの数字になったら補聴器が必要なのか分からない方も多いと思います。検査結果の見方が分かれば、ご自身の聴力の変化が分かるようになります。ちなみに、聴力は数字が大きいほど聞こえが悪いことを示します。35dB以上で補聴器の試聴を勧めています。

聴力検査の結果をもとに**補聴器を調整**している間、参加者には『難聴・補聴器〇×クイズ』に挑戦していただきました。前職でも補聴器のガイダンスを行っていましたが、その時に患者さんからよく質問されたことを集めたものです。

そしていよいよ**補聴器の試聴**です。皆さん、つけたりはずしたりしながら、補聴器の有無によるきこえの違いを比べたり、スタッフと会話をして聞こえを確認したりしていました。補聴器を通して聞く音がいつもと違うこと、テレビの音量が普段より小さくなることに驚いたようです。

体験会後の参加者の感想は「補聴器についてよく知ることができてよかった」というものでした。“補聴器を使ったら聞きやすかった”となるのは生活場面で試してからですね。補聴器試聴に躊躇している方々に、まずは体験会で「補聴器ってこんな感じか！」と知ってもらいたいと考えています。次回の補聴器体験会は9月18日(金)の予定です。

おぎじびぶんこ



待合室を通るたびに、みんなはどんな本を読んでいるのかな？と横目でチェックしています。画像は7月のおすすめ絵本『昆虫の体重測定』です。手に取り易いところに置いてあることもあり、人気の1冊です。先日は大人の方が熱心に読んでおり、「これすごい面白いよ！」と教えていただきました。私も読みましたが、実際に身の回りの物の重さを測ってみたくなる絵本です。しかし絵本に出てくる「電子てんびん」を検索すると価格は10～20万円で、気軽に試せる代物ではありませんでした。絵本で楽しみます。
その他の7月、8月のおすすめ絵本は院内モニターと本棚の横のPOPで紹介しています。

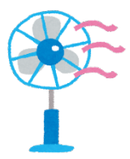
育てています

ST室１はクリニックの中で1番日当たりが良いためか、開院祝いにいただいたパキラがぐんぐん成長しています。せっかくなので増やしてみたいと思い、水に挿し木をしました。とりあえず空のペットボトルに挿し穂を入れて窓辺に置き、水をこまめに換えながら、発根するか観察しています。植物を育てることは全くの初心者なので、全部ネット情報なのですが、水の中で出てきた根と土の中で出てきた根は異なるそうです。そのため発根してきても土に植えるのではなく、ハイドロカルチャーという水耕栽培用の発泡煉石(はっぽうれんせき)を使って栽培するようです。発泡煉石は粘土を1100℃の高温で焼いて発泡させたボール状の石のことで、メリットとしてコバエや虫などが寄り付かないと書かれていました。胡蝶蘭が置いてあった頃は、コバエがフワフワ飛んでいて困ったので、このメリットは良いですね。窓際のスペースに緑を飾って素敵な空間づくりをしていきたいのですが、はたして根が出てくるでしょうか。

(井上理絵)

ハリーポッターにハマる！

2001年に映画が封切られ世界的ヒットに至った『ハリーポッター』。当時まったくブームに乗れなかった私は今、読書でこれにハマっています。ワクワクどきどきの展開にまず魅了され、魔法学校や街の中をまるで自分が冒険している気分です。でも一番の魅力は登場人物の揺れ動く心情です。文学の力を久しぶりに感じ、ちょっと感激しています。さて、読了後に映画を観たとき、私は何を感じるか、それが次の楽しみです。(鈴木恵子)



編集後記：クリニックの待合室&モニターでは、おぎじび文庫の蔵書の中から、絵本のプロのおススメ、スタッフのおススメの絵本を紹介しています。次は受診された皆様に”お気に入りの絵本”、“思い出の絵本”を聞いてみようと考えています。結果は9月号？10月号？でお伝えしたいと思います！お楽しみに。